

文部科学大臣杯争奪日本学生・女子学生王座決定戦 感染対策要項

2022年10月30日
日本学生ゴルフ連盟
感染対策小委員会

目次

- 1、**選手・関係者全員へ抗原検査実施について** 2ページ
- 2、**検査方法とそれに対する諸注意事項** 2～4ページ
 - ②-1) 検体採取実施日について
 - ②-2) 検査結果報告のやり方
 - ②-3) 検査結果判明後の段取り・諸注意事項
- 3、**試合当日の会場入場時における感染対策チェック項目** 4ページ
 - ① 入場時の流れの説明と提出義務書類について
*入場を許可されないケースについて説明
 - ② **入場チェック前に必ず守って頂きたい約束事**
- 4、「**学校バブルシステム**」**施行と遵守** 4～5ページ
- 5、**その他の諸注意事項** 5～6ページ
 - ① **試合中、体調に異変をきたした場合**
 - ② 「体調管理チェックシート」の開始日
 - ③ 「マスク着用」範囲について
 - ④ 発熱、咳き込む、体調不良に関して
- 6、**ローカルルール** 6～7ページ
 - ① 18時以降の飲食の許可について
 - ② レストン利用について
 - ③ ロッカー利用について
 - ④ シャワー利用について
 - ⑤ 指導者、その他の方々（メーカー様、プレス関係者など）の入場について

選手、関係者の皆さまへ

感染症に対して、政府、自治体単位での緩和策や世情的な緩みも見受けられる一方で、まだまだ不穏な感染状況も顕在しているという、混沌とした中、平素より本連盟の感染対策面で多大なご協力、ご対応を行なって頂き、心より感謝申し上げます。

早速で恐縮ですが、表題の件につきまして、下記の通りお伝えさせていただきます。

1、本競技は、試合前に抗原検査を行ないます

***ワクチン接種、未接種に関わらず、選手・関係者全員に実施させていただきます**

◎検査を行なう理由として

本競技は、感染リスクが高まる4泊以上の競技開催に相当し、ガイドラインに則り、お世話になるコースへ全員「陰性」にて入場し、万全を期して競技開催に臨みたいと思います。

現在の感染者において、「無症状感染者」が少なからず若年層にみとめられている点とワクチン接種者においても感染事例が顕在している実状を考慮すると、検査ナシではリスクが大きく、クラスター回避の見地でもケアする必要があることをご承知おき下さい。

2、検査方法とそれに対する諸注意事項

選手・関係者は、必ず11月25日（金）～26日（土）に、抗原検査を行なって下さい。

*検査日詳細は後述

検査に関して、以下の2つのケースを想定して、ご説明させていただきます。

ケース1、一つの大学から、選手1名の参加の場合

ケース2、一つの大学から、複数の選手が参加の場合 どちらのケースにおいても

検査キットは、お手数ですが各自・各校で購入なり、お手配をお願い致します。

ご負担頂いた分に関して、**本連盟費用負担は、一人当たり税込1000円とさせていただきます。**

本連盟から、その1000円×人数分の金額を、大学単位で競技会場にてお支払い致します。

*帯同の主務（又は準ずる者）は各校1名まで（その1名は学連で負担）

指導者の方は自己負担お願い致します（1校、3名まで）。

★参考までに本連盟がお取組みしている「Anywhere（エニーウェア）」様 (<https://anywhere-no1.jp>) からですと「鼻腔採取抗原検査キット」を825円（税込）にて購入できます。

また、無料のPCR検査を行なう場合も、同様に陰性の証明となる写真を送って下さい。

以下、対象選手、関係者用の手順説明

②-1) 検体採取実施日について

11月25日（金）～26日（土）午前中までに検査実施して下さい。

*検査精度上、上記実施日は、余程の理由がない限り、遵守して下さい。

②-2) 検査結果報告のやり方

11月26日(土) PM2時まで (この時間を超えた場合、基本、受付致しません)

検査人数分の判定写真を所定の「検査結果報告フォーマット」(Excelファイル)にまとめ、以下のメールアドレス宛に、大学単位でまとめて提出して下さい。

ksga.kensa@gmail.com (担当：学生感染対策委員 牛谷、新出、関谷)

***この判定報告を間違いなく、正確にレスポンスして頂けることが重要です。**

本競技は、出場資格選手が決まっており、本連盟から、大学ごとに選手名リストが記載されたフォーマットを作成しますので、そのフォーマットに陰性確認写真を提出された選手が【本競技の選手登録者】として認可されます。

*主務1名(又は準ずる者)、指導者3名まで 帯同される場合も同フォーマットにお名前と陰性の写真添付をお忘れないう、お願い致します。

↓

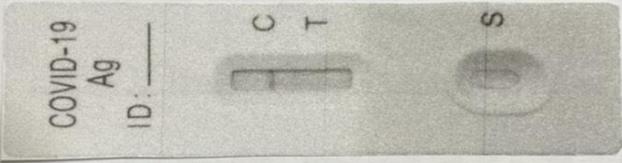
「検査結果報告フォーマット」記入方法について

① 1シート目の「提出用紙」については、**青色で塗られている記入欄**がございますので、そこに必要事項を全て記入して下さい。

② 2シート目の「検査結果」については、シートの上部に記載されている例を参照して、検査結果の写真やスクリーンショットを載せて、名前の記入を必ず行なって下さい。

検査結果の写真のサンプルを、以下に掲載します(要参照)

大学名	学生連盟大学	↓該当する方に○
氏名	学連 太郎	<input checked="" type="radio"/> 加盟員 / <input type="radio"/> 加盟員以外
検査日時	2021年 8月16日 14時00分頃	



*上記写真の検査板と実物は若干異なります

②-3) 検査結果判明後の段取り・諸注意事項

もしも「陽性」判定が出た場合、その方は、日本国の様式に従った行動をとって下さい。

(医師・保健所への相談・連絡)

また、陽性判定者は、その結果を部の責任者（指導者、主将、主務）に必ず報告して下さい。 **報告を受けて、責任者は、まず所属大学当局にその旨の連絡を入れ、大学当局の指示・判断をあおいで下さい。** 大学当局からの指示が「出場を認める」或は「出場を辞退する」など、どういう裁定にせよ、速やかに本連盟に必ずご一報下さい。

***同一校から 1 名以上陽性者が出た場合、大学の裁定が「出場を認める」としても、濃厚接触者または本人がそれに近いと自覚する選手は、出場は認められません。濃厚接触でない当該大学選手に関しては、安全を確認する為に、指定練習日の早朝に競技会場にて、全員に抗原検査を受けて頂き、陰性であれば出場を認可させていただきます。**

3、試合当日の会場入場時における感染対策チェック項目

① 入場時の流れの説明と提出義務書類について（指定練習日含む）

入場の際は、本連盟が定める所定の場所にて、感染対策の見地で、一人一人チェックを行います。***個人戦ですが、できる限り大学単位で入場して下さい**

1) まず、所定の項目（体調面や平均体温）をきちんと記入した「**体調管理シート**」を**必ず提示**→**シートを提示できない或いは内容が記入されていない場合入場できません。**

↓

2) シート提示と同時にサーモグラフィーによる「検温」を行います。

➡その際、シートに記載の平均体温より 1 度を超えて高い体温の者は、「再検温」の場所に回って頂き、より精度の高い検温器で再度、測り直します。それでも、前述の規定「**平均体温より 1 度を超えて高い体温**」に抵触した者、又は **37.5 度以上の者は入場できません。**

②**入場チェック前に必ず守って頂きたい約束事**（選手或はチーム責任者へのごお願い）
感染対策の大切なポイントとして、以下の点を必ず遵守して下さい。

1) 当日の朝（試合会場出発前）に、発熱症状（平均体温より 1 度を超えて高い場合）がある、或いは体調を崩していないか？！（体調不良）の確認チェック。

2) 上記に該当する選手・関係者をコース入りさせないで下さい。

3) 「**体調管理チェックシート**」を忘れていたり未記入者はいないか？

特に**未提出や記入不備、その場で適当に記載した場合、感染対策の意識が希薄と判断し、安全管理上、入場を固くお断りします**ので、ご留意下さい。

★「**体調管理チェックシート**」は、発熱者、感染が疑われる者が出た場合、このチェックシートがあることで病院・医師の診察を受ける際、**大切な問診資料として役立ちます。**

4、「学校バブルシステム」施行と遵守

①普段から**学校単位での感染対策の更なる徹底**をお願い致します。

②競技会では、学校単位での接触活動のみにとどめることを徹底し、

学校を超える選手間・関係者間の濃厚接触を完全に避けることとします。

- ・朝の入場時は、他校選手との濃厚接触を避けるようケアして下さい。
- ・プレー中もソーシャルディスタンスをとり、他校選手との濃厚接触を回避して下さい。
- ・当日の来場も、同じ大学単位で来場。練習場、練習グリーンも濃厚接触を避けて下さい。

このシステムを遵守して頂くことで、万が一、感染者が認められても「濃厚接触は当該大学の選手、関係者のみ」となり、その日の競技を中止せず、継続することが出来ます。

*その選手自身は競技場から退場。

5、その他の諸注意事項

①試合中、体調に異変をきたした場合

体調の異変をきたした場合、外傷など、その理由がはっきりしている場合を除き（例えば毒虫に刺された・転んで手を怪我した 或は本人がわかっている自己疾患等）、速やかに その症状を含めて本連盟の運営事務局に申し出ること。

試合期間中、体調チェックシートに記載されている症状（発熱、喉痛、せき、倦怠感、味覚障害など）が新たにみとめられた場合は、基本出場停止となりますが、可及的速やかに抗原検査を行った上で、陰性ならば学連に報告をし、判断を仰いで下さい。

また試合中に、選手、関係者から（1名以上）陽性者が出た場合、

その当該校の他の選手に関しては、当日の抗原検査で陰性が確認され且つ、その

陽性者と濃厚接触（定義はガイドライン P25 参照）していないと確実に判断できる

ならば、継続出場を認可します。

濃厚接触者となった場合は、安全管理上、出場できません。また、少しでも不安があると自覚される方は濃厚接触者扱いとなります。感染を拡げない為にもご周知ください。

➡**この場合**、学連側で出場継続許可の判断が下ったとしても、当該校の選手、関係者

は、**毎日、試合前日の夕刻に抗原検査を行なうことをご承知おき下さい。**

これを行うことで安全確認の精度が飛躍的に増します。（寮生活や合同部活等の背景も

あり、陽性者が出た場合、1回の抗原検査では、偽陰性の可能性も否定できない為）

*①・②の場合、検査キットは予め当該大学で、余裕を持った数量をご用意下さい。検査費用は当該大学負担とさせていただきます。出場できなくなる状況からレスキューする個別の措置として、ご協力ご理解下さい。

上記に関しては、当該校責任者(指導者の方、主将主務)の管理のもと、適正に行って頂き、**本連盟の競技運営責任者(委員長、競技委員長、学生感染対策委員リーダー)**にご報告下さい。

②「体調管理チェックシート」の開始日 *試合開始当日から 15 日前

③ プレー中、練習場、練習グリーンではマスク未着用を可とします

但し、朝の入場時、ハウス内(トイレ含む)、スタート集合時、アテスト時は、必ずマスク着用。また、常にディスタンスに留意し、飛沫の出るような私語は厳禁とします。

*私語や大声の会話を注意される、マスク未着用を注意される等、感染対策上の落ち度を、合わせて2回以上受けた者は、反省の意がないと判断し、**退場して頂きます。**

④発熱、咳き込む、体調不良に関しては、下記の点をご注意ください。(詳細P5に記載)

1) 上記の顕著な症状が、競技中に認められた場合は、**症状を隠すことや、無理をすることはせず、遠慮なく学連関係者へ申し出て下さい。**(その勇氣によって、競技進行が大事に至らず、ご自身・参加者の「健康」を救う判断となります)

2) **競技数日前から体調不良の自覚がある場合は、必ず部の責任者に申し出ること。**

(体調不良を防ぐ意味でも、十分な睡眠、小まめな水分補給を試合当日はもちろん、普段から怠らないようお願い致します)

6、ローカルルール

競技会場の周辺環境や、プレー終了時刻の時間帯を鑑み、下記内容のローカルルールを特別に定めますので、必ずご一読熟知の程、宜しくお願い致します。

①**18時以降の客として飲食店舗の利用は、20時まで認めることとします**

但し、以下の点を遵守して下さい。

- ・食事をとる際は、感染対策がきちんと成されている店舗であること。
- ・必ず「黙飲食」とする。
- ・食事を済ませたら速やかに宿舍に帰宅する。

②クラブハウス内のレストラン利用に関して

選手、帯同主務（または準ずる者）、指導者の方々はレストラン利用を可とします。
利用詳細は実施規定を確認すること。

③ロッカー利用は可

「学校バブルシステム」施行のため、他大学との濃厚接触を避け、黙利用でソーシャルディスタンス確保に努めて下さい。

④脱衣所、シャワー利用に関しては、可とします。

大雨や雷雨なども考えられ、健康面を考慮し、利用を認めることとします。但し、黙利用でディスタンスを保って、シャワーのみの短時間利用(15～20分程度)とします。

また、刻々と変わる感染状況或は天候や環境変化を鑑み、追加の感染対策や感染対策のローカルルールを発信する場合がございます。その場合、主務連絡網やホームページ、試合会場掲示板或は委員長、競技委員長からの通達を通してご一報させていただきます。

⑤指導者、その他の方々（メーカー様、プレス関係者など）の入場について

指導者の方々は、1大学につき、3名まで入場可能とさせていただきます。

また本大会においては、大学関係者（主に、大学職員、広報取材担当者、OB会正規会員）、業者さま（各種メーカー様）、プレス媒体の方々に関しては、本連盟に届出のうえ、11月26日付け以降の陰性証明提出にて、入場を認めることとします。

但し、安全管理上、1社或は1カテゴリー関係者につき2名までとします。

立ち入る範囲は、スタートホール付近とホームホール付近までとします。

*感染対策を行ないコース側が認めた一般ギャラリーについては、検討中

以上です。

本連盟としても事前準備含め、より円滑に推進できるように努めます。

皆さまには細かい段取りを強いらせてしまいますが、感染対策の見地で、安心・安全な競技開催を具現化する為の大切な行動指標として、ご理解頂ければ幸いです。

コロナ禍での競技開催が長く続くことなく、この感染症が少しでも早く収束することを切に願っております。